

## (2) 気仙沼市新庁舎建設基本構想について

### 1 新庁舎建設に係る経緯

本市は、平成18年に旧気仙沼市と旧唐桑町が新設合併して「気仙沼市」が誕生し、その後、平成21年には旧日本吉町が編入合併して現在の気仙沼市となりました。行政庁舎については、旧気仙沼市役所庁舎を本庁として、旧2町の役場庁舎を総合支所として事務事業を行っています。

また、平成23年3月に発生した東日本大震災からの復旧・復興を進めるため、新たな部署の新設などがあり、教育委員会事務局をワンテン庁舎から気仙沼中央公民館(旧河北ビル)に移設しています。

震災以降、復旧・復興を優先して事業を実施してきましたが、一方で現庁舎は耐震基準を満たしていないことに加え、老朽化も進み安全性が確保されておらず、市庁舎の防災拠点機能や行政運営の効率化、市民の利便性の向上の観点から、平成28年3月に修正した新市建設計画及び新市基本計画、さらには第2次気仙沼市総合計画においても主要事業として新庁舎の整備があげられています。

以上のことを踏まえ、新市建設計画の最終年度である平成37年度の完成・供用開始を目標として、今年度から現庁舎の現状や様々な課題を整理し、新庁舎の必要性、機能・性能、規模、財源など、本市が目指す新庁舎の基本理念や基本方針を定め、建設候補地の整理・選定、事業スケジュールを検討する、気仙沼市新庁舎建設基本構想の策定に着手し、今後さらなる事業の推進を図ります。

### 2 新庁舎建設までの流れ

年度	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)
基本構想	新庁舎の基本理念や基本方針等の設定								
基本計画		新庁舎の具体的な機能、性能、財源等の基本事項の設定							
基本設計 実施設計			新庁舎建設に向けた完成姿の図面化						
建設工事					造成、庁舎建設、外構等				
供用								引っ越し、供用開始	

#### ○ 基本構想の概要

- ・ 現庁舎の現状と課題の整理、新庁舎の必要性の整理
- ・ 新庁舎のあり方、基本理念、基本方針の設定
- ・ 必要な機能性能の検討、適正な規模の算出
- ・ 建設候補地の選定
- ・ 事業手法の検討 など

提言

新庁舎建設  
基本構想策定  
有識者会議